

演題審査基準

本学会では、以下の基準に基づき演題の審査を行う。

採択後の演題取り消しは、原則として認められない。

1. 研究の質

1) 事例報告またはその他報告

- 1.報告の目的や意図が明確に示されているか
- 2.結果と考察の明確性と一貫性が保たれているか
- 3.表現が明瞭で、構成に整合性があるか
- 4.作業療法の発展に寄与する内容であるか
- 5.個人情報の保護や倫理的配慮がなされているか

2) 研究報告

- 1.序論：研究の背景、必要性や重要性が明示されているか
- 2.目的：研究で明らかにしたいことが具体的に示されているか
- 3.方法：対象・方法が研究目的に沿って具体的に記載されているか
- 4.結果：データが適切に提示され、統計処理の結果なども正しく示されているか
- 5.考察・結論：結果を論理的に解釈しているか。研究の意義や問題点が述べられているか
- 6.研究が作業療法の発展に寄与するか、または意義が示されているか
- 7.序論・目的・方法・結果・考察の整合性が保たれているか
- 8.人を対象とする研究では、個人情報保護と倫理的配慮が適切に行われており、倫理委員会の承認がある場合は該当情報（委員会名・承認番号等）を抄録に記載されている

2. 専門的価値

作業療法の発展に貢献する内容であるか

斬新さや独自性があり、実践や理論に新たな視点をもたらすか

3. 抄録記述の質

抄録が構造化され、論理的に記述されているか

文法や文体に統一性があり、簡潔で読みやすいか

4. 倫理手続き

人を対象とする研究において、個人情報保護や倫理的配慮がなされているか

所属機関の承認やインフォームド・コンセントが得られているか

研究構想・研究アイデア報告は記載不要

5. 審査方法

審査員 2 名が Web 上のスコアリングシートを用いて、各項目に対し 4 点法（4 点 = 非常に良い、3 点 = 良い、2 点 = やや不十分、1 点 = 不十分）で採点し、平均点を算出する。

6. 教育的コメント

平均スコアが 2 点未満の演題は、不採択となる可能性がある。

ただし、今後の学びに資することを目的として、審査員からの教育的コメントを筆者にフィードバックする（匿名）。